

原水爆禁止 2018 世界大会 in **広島** 世界を変える歴史的な大会へあなたも

8/4(土)開会総会 14:00-16:30 広島県立総合体育館・グリーンアリーナ

国際政治からも注目！原水爆禁止世界大会 核兵器禁止条約早期発効へ 先頭に立つ政府代表がスピーチ

今年は核兵器禁止条約採択へ尽力された政府代表が相次いで参加を表明しています。

核兵器の非人道性を広げ、条約採択の主導したアイルランドはなんと本国から大使を派遣、初参加となります。ともに中心となり働きかけた人物であるオーストリア大使も参加します。そして今年も参加するメキシコの大使は6日に発言します。ほか、主要な国々の代表が調整中です。

直に政府メッセージを聴けるチャンスです。



トマス・ハイノツィ大使
(オーストリア欧州統合
外務省 軍縮軍備管理
不拡散局長)



ジェイミー・ウォルシュ大使
(アイルランド外務貿易省・軍縮
不拡散局副局長)



カルロス・アルマーダ大使
(駐日メキシコ大使)

総がかり実行委員会代表、オール沖縄の代表、初めて大会で発言



2015年以来の戦争法廃止、安倍9条改憲NOの共同と原水爆禁止運動との連帯を示すべく、「戦争させない・9条壊すな！総がかり実行委員会」代表の福山真劫さん、辺野古新基地を造らせないオール沖縄会議事務局長の山本隆司さんが4日に発言。8月11日に沖縄で開かれる辺野古新基地建設反対県民大会とも連帯します。

逆流に屈せずたたかい続ける世界の草の根の 運動と交流 (4-6日発言)

核兵器禁止条約に背をむけ、軍拡をすすめようとする核保有国、核の傘の国を追い詰める世界の反核運動の代表が参加。朝鮮半島非核化の道を切り拓く韓国からも発言します。

そして日本各地の優れた経験も交流します。





広島県被爆7団体(要請中)

2018年3月に結成された「ヒバクシャ国際署名広島県推進連絡会」の中心的な存在である、被爆7団体に発言を要請中。

左写真：2016年世界大会より



60周年原水爆禁止国民平和大行進



歴史的な南北会談、米朝会談の前後から全国スタートした国民平和大行進が平和祈念公園前で終結。大会には10名の通し行進者、海外から行進された青年のみなさん、そして各地の行進を支えてきた県内通し行進者のみなさんが登壇されます。

8/6(月)閉会総会(ヒロシマデー集会) 10:30-13:00 広島県立総合体育館・グリーンアリーナ

【特別企画】

～警鐘・継承～被爆73年ヒロシマから

被爆者の証言

山田玲子さん

(東京都原爆被害者協議会副会長)

箕牧智之さん

(日本被団協 代表理事)

核実験被害者の証言

アバッカ・アンジャン・マディソン

(元上院議員、ロングラップ島民女性クラブ「イジュ・イン・エアン」代表)

被爆者から継ぐ 青年の思い

広島市立基町高等学校 OBのみなさんより

うたごえとともに 決意をかためて

広島のうたごえのみなさんといっしょに

ヒロシマデー集会特別企画です。被爆者の方を代表して非人道性を世界にメッセージします。さらに、広島市立基町高校創造表現コースの生徒が、被爆体験証言者と共同で平成19年度から毎年取り組んでいる『次世代と描く原爆の絵』プロジェクト(広島平和記念資料館主催)。卒業生された青年のみなさんに、絵を描いたときの気持ちやこれからの思いなど発言していただきます。広島のうたごえのみなさんによる合唱「原爆を許すまじ」を。そして会場のみなさんいっしょに「青い空は」の歌で、核兵器のない世界へ決意をあらたにします。



<8月4日主なプログラム>

オープニング／主催者報告／広島市長あいさつ(要請中)／被爆者あいさつ：藤森俊希さん(日本被団協事務局次長)／連帯あいさつ／国連・政府代表あいさつ／海外代表の発言／全国代表の発言／オール沖縄の闘いに連帯／60周年原水爆禁止国民平和大行進

<8月6日 主なプログラム>

再開宣言／各国政府・自治体メッセージ／国連・政府代表のあいさつ／政党連帯あいさつ(要請中)／海外代表あいさつ／特別企画「被爆73年被爆地ヒロシマから」／全国代表から決意／文書提案・採択／行動提起／フィナーレ

問い合わせ

原水爆禁止世界大会実行委員会

TEL 03-5842-6035 / FAX 03-5842-6033

web:http://www.antiatom.org/intro_activity/world_conference.html